

《原稿の種類》

標題 副題

執筆者名・共著者名

(書き出しまで8行空ける)

はじめに

ここでは、『環境と公害』誌の8ポイント原稿の書式設定を説明します。この文章は、実際の書式にあわせて作成しています。A4用紙で余白は上40mm、下42mm、左右30mmとります。

1. 字数とフォント

(1) 1ページの字数

1行は25字で、46行で1段分、1ページに2段入ります。最初のページには、論文タイトルや執筆者名のため、8行分のスペースを空けます。

(2) フォント

和文フォントは明朝体（MS WindowsであればMS明朝）を、欧文フォントはセンチュリーオールドを指定します。本文の文字サイズは8ポイントです。

2. 節の見出し

節の見出しは上下に0.5行分ずつの改行を入れます。MSワードの設定では、「書式」メニューから「段落」を選び、「間隔」の設定で段落の前と後にそれぞれ0.5行ずつの間隔を設定します。同時に、「インデント」の設定についても、「左のインデント幅」と「右のインデント幅」を1文字に、「最初の行」の「字下げ」を1文字に設定します。これにより、節の見出しが1行より長くなった場合にも対応ができます。

小見出しの順番は、1、2のあと、(1)、(2)、の順で、最後が・(中黒)となります。書式の設定は、(1)、(2)以降は「間隔」の設定は行わず、「インデント」のみ、節見出しと同様に設定します。

3. 節のタイトルが長い場合の折り返し方はこうなります

- (1) 第1項のタイトル サブタイトル
 小項目 1

節の見出し、小見出しの関係は上記の通りです。

4. 図と表

(1) 図表のサイズ

図表は、本文の1段の幅に収まる（実寸71mm以内）か（図1参照）、それより大きく2段分の幅が必要（最大で実寸149mm以内）か（表1参照）、の2種類に区別します。高さは幅に応じて適宜調整してください。

(2) フォント

フォントの種類は本文と同様ですが、サイズは原則として7ポイント、行間4ポイント（=改行幅11ポイント）を指定します。

(3) 色

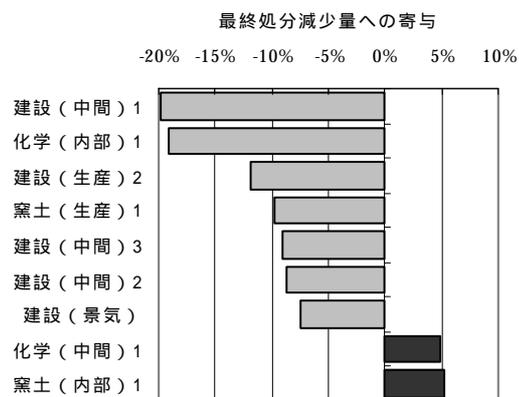
本誌はカラー印刷はできませんので、図表も白黒印刷で明瞭に読み取れるように色指定をしてください。例えば、グレースケールで、白、25%灰色、50%灰色、75%灰色、黒の5段階など。

(3) 元データ

図表の元になるデータは、MSエクセルのような表計算ソフトに入力して投稿の際に添付してください。

(4) キャプション

表のキャプションは表の上部に、図のキャプションは図の下部に、それぞれセンタリングして入れてください。フォントの種類・サイズとも図表と同様ですが、太字に指定してください。図と表それぞれに通し番号を付けてください。



出所：『環境と公害』33巻4号の山下・除本論文

図1 1段に収まる図の例

(5) 配置

図表は、本文中の適切な場所に挿入した状態で提出してください。通常、本文で最初に当該図表が言及される位置以降で、ページの上部または下部に接するように挿入します。

5. 注と参考文献

(1) 注

本文中に¹⁾のように、上付の数字に) をつけて明示してください。注の内容は、文末に整列させます。なお、提出原稿にはMSワードなどの注作成機能は用いないでください。

(2) 参考文献²⁾

末尾の例の通り、書式を統一してください。

6. 提出データ

電子記録媒体は MS-Windows で読み取り可能な形式でフォーマットされたフロッピーディスクまたは CD-R を使用してください。本文は、MS-ワードまたは一太郎にて所定のフォーマットに整形してください。

(せい めい・所属)

(1 行空ける)

注

- 1) 注の書式は、フォントサイズ 8 ポイント、行間 4 ポイント (= 改行幅 12 ポイント) で、「インデント」で「右のインデント幅」を 1 文字に、「最初の行」の「ぶら下げ」を 1 文字に、それぞれ設定します。
- 2) 参考文献についても同様です。

参考文献

- 1) 淡路剛久 (2000a) 「環境法制の動向」『環境と公害』 29(3), pp.2-8 .
- 2) 淡路剛久 (2000b) 「20 世紀から 21 世紀へ 環境権の思想と展望」『環境と公害』 30(1), pp.39-45 .
- 3) 原田正純 (1989) 『水俣が映す世界』日本評論社 .
- 4) 原田正純 (2004) 「水俣病の歴史」, 原田正純編著 『水俣学講義』日本評論社 .
- 5) Tsuru, S. (2000) The Political Economy of the Environment: The Case of Japan, Univ of British Columbia Pr
- 6) Miyamoto, K. (2004) “Environmental Regeneration in Yokkaichi”, *Environment and Pollution*, 34(3), pp. 35-40 .